

アニメ番組を作ってみよう（４）

「T2V プレイヤー」というソフトを使って、アニメーションの番組風動画を作ってみましょう。基本的な動作であれば、プログラム言語を使わずに、ふつうの文章で作ることができます。

いよいよ最終回。今回は、背景や登場人物を変えたり、読み方や字幕の調整方法を学習します。

「タグやコマンドの一覧」を用意しておきましょう。

また、「haikei.jpg」ファイルは、作品と同じフォルダに保存しておいてください。

1. 場面・登場人物の変更



①「演出調整.txt」を開き、全文をコピーします。

②T2V プレイヤーを起動し、エディタ部分で右クリック→「貼り付け」。

③再生して、内容や流れを確認します。

④確認したら、「演出調整」という名前で保存してください。

用意されている登場人物は、右図の10人です。この中から、今回は「MEI」を使ってみます。

また、用意した「haikei.jpg」を背景にします。



⑤演出選択ボタンで、Cube を選びます。

⑥台本の最初に、「A：(キャラクター:MEI)」とコマンドを入れると、人物は MEI に変更されます。

⑦さらに、「背景イメージ：haikei.jpg」とタグを入れます。

「(オープニングなし)」を入れておきました。ただ、この演出ではオープニングがないので、「(オープニングなし)」コマンドは、あってもなくても同じです。

書き加えたら、再生して確認しましょう。

2. 発音の調整

発音のおかしなところを、調整しましょう。

(1) 「こんにちは、メイです。」

「こんにちは、姪です。」みたいな読み方ですね。「メイ→メい」と変えると、アクセントが「メ」にきます。もっとハッキリと変えたいときは、＜発音：：～＞タグを使います。「～」にはカタカナを入れ、アクセントの位置に「'」（Shift+7）を入れます。

「こんにちは、＜発音：：メ' イ＞です。」とすると、自然になりますね。

(2) 「～ね。」

いかにも、棒読み。「～ね?」「～ネ?」とすると、自然になります。

ほかにも、おかしいところは、句点「、」を入れるなど、工夫してみましょう。

3. 間合いの調整

間合いもなく、早口で、どんどんしゃべっていく感じです。そこで、文と文の間に、

「(0.5 秒待つ)」

を入れましょう。段落の後だったら（1 秒待つ）にするなど、秒数は状況に応じて調整してください。

4. 字幕の調整

今回は、「話している言葉の字幕を入れない。ポイントとなる用語などを、必要に応じて字幕にする。」としてみます。

(1) 最初に、「(字幕オフ)」コマンドを入れます。

(2) 字幕を入れたいところでは、たとえば……

=====

(字幕オン)

こんにちは、＜発音：：メ' イ＞です。(字幕：DBS アナウンサー 道場メイ)

(0.5 秒待つ)

(字幕オフ)

=====

というように、(字幕オン) と (字幕オン) でサンドイッチします。

(3) 入れたい字幕は、文の後ろに「(字幕：～)」と、字幕コマンドを入れます。

最後に、前回までに学習した、カメラワークや人物の動作などを入れてみましょう。

いかがですか、イメージどおりの作品になりましたか？

修正例として、「演出の調整（修正後）.fis」というファイルを用意してあります。参考にしてみてください。